

2022年1月23日(日)
日本キリスト教団 久宝教会
第64巻第43号(通算3271号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝:毎日曜10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝:毎日曜10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま
神様がすべての人と共におられる
ひととも
あかし
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつだい しゅじついはい 降誕節第5主日礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 申命記 30章 14節

賛美歌 21-408番「この世のもので」(©JASRAC)

聖書 ペトロの手紙 一 1章 3-12節

お祈り 賛美歌 21-481番「救いの主イエスの」(©教団讃美歌改訂委員会)

メッセージ「試練と信仰」 牛田 匡牧師

賛美歌 21-452番「神は私を救い出された」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

誕生者祝福式(*) 牛田 匡牧師

献げ物(**)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡牧師

後奏 アーメン コーラス(21-40-6番)(©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

となり かんかく
《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*みんなで1月生まれの方(と今年度1月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

**「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

その言葉はあなたのすぐ近くにあり、あなたの口に、あなたの心にあるので、あなたはそれを行うことができる。

聖書 ペトロの手紙 一 1章 3-12節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

³私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神は、豊かな憐れみにより、死者の中からのイエス・キリストの復活を通して、私たちを新たに生まれさせ、生ける希望を与えてくださいました。⁴また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、消えることのないものを受け継ぐ者としてくださいました。⁵あなたがたは、終わりの時に現されるように準備されている救いを受けるために、神の力により、信仰によって守られています。⁶それゆえ、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、さまざまな試練に悩まなければならぬかもしれませんが、⁷あなたがたの信仰の試練は、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊く、イエス・キリストが現れるときに、称賛と栄光と誉れとをもたらすのです。⁸あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛しており、今見ていられないのに信じており、言葉に尽くせないすばらしい喜びに溢れています。⁹それは、あなたがたが信仰の目標である魂の救いを得ているからです。

¹⁰この救いについては、あなたがたに与えられる恵みのことを預言した預言者たちも、熱心に尋ね、つぶさに調べました。¹¹預言者たちは、自分たちの内におられるキリストの靈が、キリストの苦難とそれに続く栄光についてあらかじめ証しした際、^a それがいつ、いかなる時を指すのか調べたのです。¹²彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのためであるとの啓示を受けました。それらのことは、天から遣わされた聖靈に導かれてあなたがたに福音を告げ知らせた人たちが、今、あなたがたに告げ知らせており、天使たちも、うかがい見たいと願っていることなのです。

(脚注 a：別訳「それが誰を、あるいは、どの時期を」)

《先週のメッセージより》 2022年1月16日 降誕節第4主日礼拝

「サケがない」より

岡嶋 千宙 ちひろ 伝道師

聖書 ヨハネによる福音書 2章1-11節

「ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた」という記述から始まる物語。通常、ここで描かれるのは、イエスの奇跡の物語と理解されます。ですが、イエスの関わりの度合いと、その前の場面設定からすると、むしろ、「イエスの母」と呼ばれる人物の存在が目につきます。他の福音書では「マリア」と個人名で呼ばれながら、ヨハネ福音書では決してその名前で呼ばれることのない「イエスの母」。彼女は、「招かれた」(1節) イエスや弟子たちとは異なり、主催する側、ホストの人間としてその場に居合わせていました。

当時のパレスチナでは、婚礼というには共同体全体を巻き込んだ大イベントです。イベントのホストは、集う人たち全員に十二分に行き渡る料の食べ物と飲み物を用意しておかなければなりません。なのに……酒がない！ その時、「イエスの母」が一步を踏み出しました。「ぶどう酒がありません」とイエスに語りかけた彼女は、イエスからの何とも言えない無愛想な応答を受けながらも諦めませんでした。ひょっとしたら、イエスからのそっけない応答を受けたあと、彼女は婚礼の席に居合わせた別の人たちにも「ぶどう酒がありません」と伝え回っていたかもしれません。そして、そう言われた人たちが、それぞれに調達できるだけのぶどう酒を集めてきた、ということは十分に考えられます。一人が持ってくる量はわずかであっても、それをあわせたら、水がめいっぱいのぶどう酒になっていた。名前も記されていない一人の女性の思いによって人々の間に繋がりがもたらされ、喜びの場が継続させられたのです。

「イエスの母」。それは、今この瞬間に、この言葉にふれているわたしたち一人ひとりです。そして、わたしたちもイエスに問われています。「私とどんな関わりがあるのです」(4節)、「その関わりのなかで、どう生きるのですか」と。生きるなかで直面する様々な困難や試練や限界に対して、あきらめて誰かのせいにし、亀裂を大きくするのか。それとも、あきらめずに、自ら動いて、動いた先で出会う人たちとの関係の輪を広げて、不確定でも望む世界へと続く道を歩み出すのか。イエスと出会い、イエスとの関わりの内に入れられ、イエスに問われているわたしたちは、一步を踏み出すように促されています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎先週の報告 1月16日 降誕節第4主日礼拝
礼拝出席 大人6名 中継動画再生数 25回
献金 大人7,000円 感謝

◎次週 2022年1月23日(日) 降誕節第6主日礼拝(河内地区講壇交換礼拝)

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 5章8節

聖書 マタイによる福音書 6章1-15節

メッセージ「マスクありでも仮面なしで」 平松洋一牧師(八尾東教会)

賛美歌 21-51番(©P.D.)、21-463番(©P.D.)、21-514(©P.D.)

礼拝はインターネットでライブ中継配信いたします。河内地区有志教会の講壇交換礼拝として、八尾東教会の平松洋一先生が来てくださいます。牛田牧師は八尾東教会に行きます。その他、小阪教会と枚岡教会、八尾教会と住道一粒教会が講壇交換を行う予定です。

◎お知らせ

- ・昨年のクリスマスに皆様から頂いた「クリスマス献金」は合計123,851円でした。地域の方々などにお配りした2,000枚の「クリスマスカード」代26,400円を差し引き、「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団伝道委員会 開拓伝道援助資金献金」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」に10,000円ずつ、「日本基督教団部落解放センター」に20,000円、「一般社団法人・神戸国際支援機構」に25,000円、「生活困窮者支援(含・釜ヶ崎いこい食堂おにぎり支援)」に22,451円を献金いたしました。どうもありがとうございました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。ご自身が予防するためにも、また他人に感染させないためにも、医療崩壊を起こさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・1月30日(日)午後にオンラインで開催する予定にされていた河内地区婦人会は、コロナの感染拡大のために、延期になりました。
- ・1月29日(土)13時~15時半に、『あっち側の彼女、こっち側の私 ~性的虐待・非行・薬物・そして少年院をへて』の出版を記念して、著者をゲストに迎えて参加者と一緒に語る・考えるイベントが、オンラインで開催されます(日本クリスチャニアカデミー、京都YWCA共催)。参加費は1,000円です。

参加申し込みはQRコードより。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/30	平松牧師 (八尾東教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 (午後)河内地区婦人会(延期)
2/6	牛田牧師	聖餐式・教会を考える会
2/13	牛田牧師	(信教の自由を守る日)・聖書を読む会?
2/20	岡嶋伝道師	(午後)河内地区壮年会?

